

## 韓国政府日本教職員招へいプログラム

### ユネスコ日韓教職員オンライン対話プログラム

ーポストコロナ時代、持続可能な未来のための児童生徒・教職員間の国境を越えたコラボレーションー

(2022年7月～10月：オンライン開催)

## 募 集 要 項

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）では、文部科学省の委託の元、「韓国政府日本教職員招へいプログラム ユネスコ日韓教職員オンライン対話プログラムーポストコロナ時代、持続可能な未来のための児童生徒・教職員間の国境を越えたコラボレーションー」を実施します。つきましては、以下の要領で同プログラムに参加する日本の学校6校より教職員12～18名を公募にて募集します。

### 1. 背景

ACCUは、ユネスコ（UNESCO: 国際連合教育科学文化機関）の理念に沿って、多様な文化が尊重される平和な社会の実現をめざし1971年に設立され、教育と文化の分野においてアジア・太平洋地域の人々と協働して事業を推進してきました。2001年からは、子どもたちに影響力をもつ学校の教職員を対象にした国際交流事業を開始し、「先生が変わる 子どもが変わる 学校が変わる 学びの場」づくりを担っています。

日本と韓国との国際交流事業に関しては、文部科学省の協力のもとで、韓国から教職員を招へいする「韓国教職員招へいプログラム」を2001年より実施し、日本教職員を韓国に派遣するプログラムを2003年より文部科学省および国際連合大学の協力のもとで実施してきました。これらの一連の事業は韓国政府に高く評価され、2005年からは韓国教育部の協力のもと韓国ユネスコ国内委員会（KNCU）により「ユネスコ日韓教職員対話プログラム」の一環として「韓国政府日本教職員招へいプログラム」が実施されています。これらの事業により、これまでに合わせて3千人以上の日韓の教職員が海を渡り、新型コロナウイルス感染症拡大以降も、オンライン上での交流を継続してきました。今年度のプログラムは、韓国ユネスコ国内委員会（KNCU）の招へいにより、文部科学省委託「新時代の教育のための国際協働プログラム 初等中等教職員国際交流事業」の一環で、下記のとおり実施されます。

### 2. 本プログラムの目的

- 1) 日本の参加者が大韓民国の初等、中等、特別支援教育の制度や課題について理解を深めること
- 2) 日韓の児童生徒がとりくむ協働プロジェクトを取り入れた持続可能な開発目標（SDGs）の実践に関するブレンド型学習を共同開発し、ユネスコスクールを含む学校現場及び地域における持続可能な開発のための教育（ESD）や地球市民教育（GCED）の効果的な実践を探ること

- 3) 指導経験を共有することで、両国の指導の質を向上させること
- 4) 日韓の教職員及び児童生徒間のネットワークを強化すること

### 3. 活動内容

オンラインプラットフォームを通じたウェブ会議、チャット、ウェビナーを活用し、以下の活動を行います。

- 1) オンライン講義や韓国教職員との交流を通して、現在の韓国の教育政策、ユネスコスクールや平和、持続可能な開発に関する事柄を含む課題を学ぶこと
- 2) COIVID-19 の状況を踏まえて、地域コミュニティにおける SDGs の実践に関するブレンド型学習を開発するために議論すること
- 3) 持続可能な地域を創造するために、(特にパンデミック下における) 学校や地域コミュニティにおいて、地球市民性や平和についてどのように学校で教えられるべきか探究すること
- 4) オンライン教職員交流や小グループでのディスカッションを通して韓国の教育制度における韓国の文化的特徴を見出すこと
- 5) オンラインフォーラムを活用し、SDGs の実践、地球市民性や平和の価値、COIVID-19 によりもたらされた困難を克服する方法をユネスコスクールのネットワークの中で共有すること

	活動の例
授業モデルの開発 (ブレンド型学習)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 議論 (例: Havruta アプローチを使用する)、問題解決型学習、プロジェクト型学習、バーチャル体験、オンライン協働など</li> <li>• 参加者は自由に協働授業のコンセプトを開発する。ただし、オンライン授業の結果として、日韓の児童生徒間で学びを実践する協働プロジェクトの実施を含むこと</li> </ul>
テーマ	<p>[ユネスコスクールの3つの行動分野に焦点を当てた持続可能な開発目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 地球市民と平和と非暴力の文化               <ul style="list-style-type: none"> <li>- SDG 4.7 (地球市民教育), SDG 16 (平和、正義、包摂的な社会)</li> </ul> </li> <li>• 持続可能な開発と持続可能なライフスタイル               <ul style="list-style-type: none"> <li>- SDG 13 (気候変動対策), SDG 15 (陸の豊かさ)</li> </ul> </li> <li>• 異文化学習、文化的多様性と文化遺産への正しい認識               <ul style="list-style-type: none"> <li>- SDG 4.7 (文化的多様性), SDG 11.4. (世界遺産)</li> </ul> </li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校や地域コミュニティにおける SDGs の実践に関するブレンド型学習の共同開発               <ul style="list-style-type: none"> <li>- 手法: Google classroom、YouTube、Zoom 等</li> </ul> </li> <li>• 日韓の児童生徒に対するオンライン授業の実施</li> <li>• オンライン授業の結果として、SDGs の実践にまつわる日韓の児童生徒による協働プロジェクトの実施</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラム終了後の持続可能な国際交流のための教職員・児童生徒間のネットワーク強化</li> </ul>
--	--

#### 4. 日程（暫定）

日程/期間	活動
5月 ～ 7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>参加者募集</li> <li>プログラムオリエンテーション（オンライン）：参加者の紹介、グループとディスカッショントピックの周知</li> <li>[7月16日、午後] 開会式</li> <li>[講義] 韓国の教育制度、ユネスコスクールの活動等についての紹介</li> </ul>
7月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ間での議論とワークショップ（オンライン）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインでのグループミーティングは授業開発のため継続的に実施される。その間、両国の教育制度等に関する情報共有や、SDGsに関連するブレンド型学習の改善方法について議論する。</li> <li>* 通訳が手配される公式会合は、少なくとも月に一回開催される</li> </ul> </li> <li>[オンライン文化訪問 / 8月27日、午後] バーチャル文化交流のため、地域コミュニティや文化施設を紹介する映像が共有される</li> <li>[9月～10月] 両国でのオンライン授業の実施と成果の共有</li> </ul>
9月 ～ 10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>[10月15日、午後] 閉会式 児童生徒のプロジェクトの成果含むプレゼンテーション (オンライン授業、教職員・児童生徒間の交流の結果等)</li> </ul>

※8月27日は、日本国内の参加者に限り、対面形式での会合を予定しています（東京都内会場からオンラインで韓国とつながります）。遠方の方は ACCU 規定に基づき交通費を支給します。

※状況に応じて、予定を変更させていただく場合もございます。

#### 5. 通訳

公式日程の間は日本語-韓国語の通訳が手配されます。

#### 6. 参加者

- 日本の初等中等教育機関6校／一校につき2～3名の教職員（全ての公式及び非公式プログラムに参加すること）
- 協働授業及び関連するについては、所属する学校において担当するクラス／部活動／その他のグループから最大20名までの児童生徒が参加すること

※応募時点で参加する児童生徒が決定していなくても構いませんが、応募用紙に想定する参加

児童生徒の学年（複数にまたがる場合はその旨）を記載してください。

## 7.参加資格

- 1) 日本の初等中等学校または特別支援学校の教職員であること
- 2) 自らの教授経験を韓国の教職員と共有する強い意思があること。韓国のユネスコスクールとの継続的な国際交流を開始または継続したいという意思のある学校が望ましい
- 3) 全てのプログラム活動に参加できる健康状態であること
- 4) ESD や GCED、ユネスコスクール活動に積極的に関与すること

注意：過去にプログラムを通じて韓国を訪問したことがある、または韓国の教職員を受け入れたことがある学校が歓迎されます。

## 8. 評価と報告

参加者は ACCU または / および KNCU によりアンケート票の提出を求められることがあります。その際は、期日までに提出してください。

## 9. 注意事項

- 1) オンライン交流への参加にあたって必要な機材の調達、通信その他にかかる諸経費については、各自が負担することとする。
- 2) プログラム期間中および事前の円滑な情報共有および継続的な交流のため、参加者は、ACCU が運営する会員制 SNS 「Asia-Pacific Educators' Platform: TREE」 への会員登録を行うこと。

## 10. 応募書類

参加を希望する場合は、期日までに申請用紙（指定様式）を電子メールで送信してください。申請用紙は、参加を希望する方がお一人につき一式を記入し、学校ごとにとりまとめて代表者が送信してください。手書きの文書は受け付けません。指定様式はホームページからダウンロードできます。「申請用紙の記入方法」をご参照の上、可能な限り英語でご記入ください。

・ 申請用紙（指定様式）

ファイル名：Participant Data Sheet (KNCU)\_2022 UNESCO Korea-Japan Teachers' Online Dialogue Programme (〇〇〇〇〇)

- ファイル名にある〇〇〇〇〇は応募者のお名前に替えてください。
- Word ファイルのまま送信してください。

## 11. 応募書類の送信先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター（ACCU）国際教育交流部

Email: [accu-exchange\\_ml@accu.or.jp](mailto:accu-exchange_ml@accu.or.jp)

メールの件名を「日韓教職員オンライン対話プログラム応募 (〇〇〇〇〇)」とし、〇〇〇〇〇は学校名に替えてください。

## 1 2. 応募締切日時

2022年6月1日(水) 正午

## 1 3. 選考

応募多数の場合は、申請用紙の内容に基づき選考を行います。選考結果は2022年6月15日(水)までに代表者に通知します。

韓国の参加校との調整および幅広い地域への国際交流の機会の提供のため、学校種や地域のバランスを考慮します。選考結果に関するお問い合わせは一切お答えできません。

## 1 4. その他

以下に関して、あらかじめ了承した上で応募してください。

- 参加者の個人情報についてはプログラム運営・評価・フォローアップ以外の目的では使用せず、厳重に管理するとともに個人情報の保護に努めます。なお、プログラム中に撮影した写真等は、ACCU、韓国ユネスコ国内委員会や文部科学省の報告書・冊子・ホームページ等の情報媒体に使用されることがありますのであらかじめ了承下さい。

## 1 5. お問い合わせ先

公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター (ACCU) 国際教育交流部 (天満・高松)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-32-7F 出版クラブビル

TEL: 03-5577-2853 FAX: 03-5577-2854 Email: [accu-exchange\\_ml@accu.or.jp](mailto:accu-exchange_ml@accu.or.jp)